

平成23年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472602984	事業の開始年月日	平成17年10月1日	
		指定年月日		
法人名	株式会社 ライフヘルプサービス			
事業所名	グループホーム ゆらり相模原			
所在地	( 252-0135 ) 神奈川県相模原市緑区大島3246			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成23年10月6日	評価結果 市町村受理日	平成23年12月19日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1472602984&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1472602984&amp;SCD=320</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>日々の生活の中で、身体機能維持のために散歩、歌などを習慣にしています。笑顔と真心で寄り添う介護で、ご利用者様一人一人が安心して生活できるように支援しています。</p> <p>職員同士の情報の共有を大切に、働きがいのある職場作りを目指しています。</p>
---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成23年11月7日	評価機関 評価決定日	平成23年11月27日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>グループホームゆらり相模原は、JR横浜線の橋本駅からバスで25分、相模川沿いの台地にある街道から入った住宅地にあります。ウッドデッキと芝生の庭があるしゃれた2階建の建物です。</p> <p>&lt;優れている点&gt; ホームでの生活は、自立の喜びを持てるよう、旅行・食事など利用者の希望する事をかなえるように支援しています。利用者が自分の体力や持ち味を活かして、散歩や買物、掃除や手すり拭きなど自宅の延長として生活していただき、活動の目標はケアプランに記載しています。見守る職員は明るく、風通しが良く、職員間の勉強会等でレベルアップを図りながら、家族として自然な姿で支えています。</p> <p>&lt;工夫している点&gt; ホーム内のひな祭り・クリスマス会・ミニ運動会・誕生会など、外出する初詣・こいのぼり見物・紅葉見学など、毎月の行事は行事委員会の職員が計画しています。自由に入出りできるウッドデッキでは、昼食やパーティーもあり解放感があります。行事には、多くの利用者が元気に参加し、ゆらり通信の悠花里や行事の壁写真、公開ブログで報告し、楽しい思い出がいっぱい詰まった華やかな明るい雰囲気があります。</p>
---

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム ゆらり相模原
ユニット名	1階

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「一人ひとり」を大切に笑顔と真心で、地域の一員となり笑顔で交流することを事業所独自の理念として共有しています。	理念は「一人ひとりの人生を大切に笑顔と真心で」と「地域の一員となり、笑顔で交流を」、また、パンフレットのキャッチフレーズでは「ゆらりゆらりとみんながつどう、笑顔いっぱい悠悠生活」を実践しており、ホーム内は明るく賑やかな雰囲気になっています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に記入し自治会行事の連絡があるときは参加している。又、外出（散歩）の際は自宅の庭を休憩のために提供してくれています。	自治会行事のどんど焼きには、おだんごを作り、焼いて美味しく食べました。ご近所の関係は、庭に椅子を置いて歓迎していただいたり、柿の差し入れもあります。3.11の地震時は、近所の方がガスコンロやポットのお湯を持って激励にきました。表通りの交番とも交流をしています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設行事に参加して頂ける声掛けをしています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催しています。地域自治会長、民生委員、地域包括、利用者、家族の参加を得てホームの状況、活動報告を行い意見交換を行っています。ご家族が多数参加できるように、年2回日曜日に開催しています。	運営推進会議は2カ月ごとに自治会館やリビングで開き、主任や利用者10名以上が参加しています。事業計画や状況説明、計画停電、緊急連絡体制、行事の短縮化、外出などが話題となっています。外部評価の結果も報告し、終了後バーベキューで交流しました。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護保険課、生活支援課と随時連絡を取り合い、推進会議案内、議事録、毎月「悠花里」通信、サービス状況を報告郵送しています。	消防からは防災訓練で指導いただき、市の実地指導研修にも参加しています。要介護認定での職員の来所、生活保護の方への対応もあります。近所の交番とも意見交換やお願いをしています。外部評価報告書や運営推進会議の議事録も提出しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>施錠はしていません。フロア毎に出入り口、玄関にチャイムを完備し自由に出入りできるようにしてあります。</p>	<p>玄関やフロア入り口の開閉時には、チャイムが鳴りますが施錠はしていません。テラスにも自由に出る事ができます。利用者の希望にあわせ何度でも一緒に外出しています。表通りの交番や付近の人からもそっと見守っていただいています。日頃の言葉づかいには特に気をつけています。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>全体・ユニット会議等で話合いの場を設けています。</p>			
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>必要に応じて関係者と電話、封書で連絡しています。</p>			
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時に、重要事項、利用契約書、運営規定を全て読み上げ説明し、同意後に契約のサインを頂いています。</p>			
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入り口付近の投書箱を設置しています。1ヶ月に一度確認していますが、ご意見は頂いておりません。定期的な推進会議を開催し意見を頂いております。</p>	<p>運営推進会議には家族と利用者が参加し情報交換をしています。家族レターやゆらり通信での情報提供や、小遣いの精算で家族が毎月ホームを訪問する際に、ご意見をいただいています。行事や防災訓練にも家族に参加いただき、意見を吸収するようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月事業所で運営会議、全体・ユニット会議、各委員会を開催し、代表者、管理者が出席し職員から直接意見を聞く機会を設けています。必要に応じて法人の事業部会議に議案として吸い上げ検討しています。	上下の風通しがよく、職員は何でも相談できる態勢にあります。職員は3つの委員会（サービス・事故防止・行事）に参加し、意見を反映しています。ユニット会議や全体会議でも職員の意見が反映されます。研修結果を職員間で教え合う勉強会でも意見交換しています。	
12		<b>就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	希望勤務、希望休暇、勤務状況を把握し向上心を持って勤務できるよう努めています。		
13		<b>職員を育てる取組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に参加しています。ホーム独自の勉強会、基礎研修を行いスキルアップにつなげています。		
14		<b>同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他施設への訪問、居宅介護支援事業所、包括支援センターと常に情報交換を行い、地域密着情報交換会に参加しています。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>初期に築く本人との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族様、ご本人様に入居前に生活状況をよく聞き、安心して生活できるように話合いの時間を設けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	日々の対応、生活状況を報告し、新しい情報をいただきながらご家族様との関係を築いています。			
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に見学に来て頂き、ご本人、ご家族様と十分に話し合い、入居後は早く生活環境に慣れていただけるように努めています。			
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	料理、洗濯など一緒に行うなど、共に生活している関係を築いています。			
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との関係が薄れてしまわないよう、個々の生活状況を連絡しています。家族レターなどで毎月行事への声掛けをし共に過ごし時間を大切にできるよう配慮しています。			
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族との外出・外泊をすすめています。	天候が良ければ毎日近所を散歩します。遠方の公園には車を利用し、食材の購入にも職員と一緒に出かけます。毎月の行事の準備では利用者が参加し、どんど焼きではお団子を作り焼いて食べました。家族とは外出や外泊があり、家族や友人の電話もつなげています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席の配置など他利用者とのよい関係が取れるように配慮したり、フロアで楽しい一時を過ごせるように作品作りやレクリエーションへの声掛けをしています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も他施設へ面会に行ったり、ご家族様と手紙でのやりとりをしています。		

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の希望をできるだけ取り入れています。	自立の喜びを感じ安心して暮らせるよう、観察を密にして思いや意向を把握しています。毎日のケア記録でケアプランに関係する部分は青色で記し、個人別に毎月モニタリングし、レクリエーション等の参加状況、家族面会や連絡等分類別に整理して、利用者の思いや意向を把握しています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴をふまえてプランを作成しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	観察を密にし、心身の状態、異常時の早期発見に努め、日々の申し送り、カンファレンス、各会議などで状態を把握しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>全職員が毎月モニタリングを提出し、ユニット会議、カンファレンスなどで日々の状況を報告、話し合いをしご家族の要望も踏まえた計画を作成しています。</p>	<p>毎月のケアカンファレンスでは、居宅担当が作ったモニタリング整理シート(レコードベーシック)により、暮らしの変化を捉え、出来た・できない、終了・継続・変更などを評価し、ケアプランに反映しています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎月カンファレンスを行い、日々の状況からレコードベーシックへの記入も行き問題共有し実践しています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>毎月カンファレンスを行い問題を共有しケアをしています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の行事等は可能な限り参加しています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>歯科は毎週月曜に往診。内科は毎週金曜日に往診。内科に関しては夜間、休日でも緊急対応が可能です。</p>	<p>ホームの連携病院の医師をかかりつけ医としています。最近クリニックの先生から総合病院の内科の先生に変え、夜間や休日にも対応できるようになりました。毎週先生が訪問しますが、事前に利用者の状況をファックスで報告し、充実した診断をしていただくように変更しました。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間連絡可能な状態です。		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は可能な限り面会に行き、病院関係者との情報交換を行っています。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様と同意書を作成し、終末期のあり方について共有しています。	看取りの事例はありませんが、重度化した場合の対応指針で24時間体制を整え、家族と共有しています。さらに命に関わる危険且つ緊急な状態時の対応同意書で延命処置の方法を決めています。体調変化時にも、家族と再確認し備えています。	
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時のマニュアルを作成しています。施設内にAEDを設置し職員全員が取り扱いができるように勉強会を開催しています。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	利用者様、職員の参加により防災訓練を行っています。水分・食料については3日分の備蓄があります。	防災訓練は年2回、通報・消火・避難誘導を行っており、11月に2回目の訓練を自治会長に参加いただき行う予定です。避難先は建物裏の駐車場としています。反省事項は、避難時の人数確認、避難経路にものを置かない、また災害時における家族からの安否の確認方法の提案がありました。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人に応じた声掛けを心がけています。	利用者の人格を尊重するため、本人の希望をかなえることに徹しています。旅行の計画などがケアプランに反映しています。プライバシーの確保では、公表される写真類も家族の了解を得たものだけとしています。個人情報に記載された書類は職員室に保管されています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何事においてもご本人の意思を尊重し希望はできるだけ聞いています。			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人からの希望にそった過ごし方を支援しています。			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に理美容師の訪問があります。			
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作り、配膳、片付けも共にし、献立作りの際にも好みを活かすようにしています。	1週間の献立作りは、利用者の希望を聞いて職員が作成しています。誕生会は本人の好きな食べ物とし、じゃこ天飯の注文も出ています。利用者は、2日に1回の材料の買い出しや毎日の料理作りも手伝っています。先輩としての味見、配膳・片づけもできる範囲で参加しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一日を通して随時水分補給をしています。食事摂取量を記録しています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後職員と共に口腔ケアを実施し、自立されている方は見守りをしています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>可能な限りトイレ誘導を行っています。</p>	<p>一人ひとりのサインをしっかりとキャッチして、さりげなくトイレ誘導しています。あまりサインのない入居者には、排泄チェック表を使って、時間でのトイレ誘導でトイレで排泄できるように支援しています。入院しておむつになってしまった入居者がりハビリパンツまで回復しました。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>飲食物の工夫や散歩への声掛け等をし個々に応じた予防に取り組んでいます。医師との連携も取るようにしています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴時間は決まっていますが、本人の体調に合わせて入浴しています。</p>	<p>お風呂は毎日沸かし、午前、午後入浴できるようになっています。入居者の希望や体調に合わせて、交代で週2日位の入浴です。拒否される入居者には、色々工夫を凝らし、家族から声をかけてもらうなどして入浴しています。季節感のある菖蒲湯や柚子湯も楽しめます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>ご本人の好きな時間に休息したり、眠ってもらうようにしています。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の理解に努め、症状の変化の確認に努めています。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>掃除、片付けなど役割を決め実施しています。個々に合わせた散歩、手工芸など気分転換できるように支援しています。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>個別の対応は出来ていないが、数名づつ利用者の希望や体調に合わせて外出しています。日常の散歩などは個別に対応しています。</p>	<p>近隣への散歩は毎日しています。散歩の途中、近所の家の庭で一休みし交流したりしています。食材の買出しや郵便局、車の洗車等一緒に出かけており、時には入居者の希望で回転寿司に行くこともあります。高尾山や津久井湖のお花見、紅葉狩りなど、楽しみながら、外出の支援をしています。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>日用品や嗜好品の購入の際はご本人のお金を支払うことにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様から電話する事は難しいため、ご家族から電話を頂けるように働きかけをしています。個別に携帯電話の使用もされています。年賀状を毎年ご本人に書いていただいています。			
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁などに作品を展示し季節感を取り入れる工夫をしています。	リビング、食堂、キッチン一つの空間としてまとめており日当たりもよく、さらに1階では広々としたウッドデッキが続き開放感があります。ウッドデッキは洗濯物を干したり、バーベキューをしたり、憩いの場となっています。キッチンの流し台は2つあり入居者が手伝いやすい設計です。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアー内に椅子を多く配置し、自由に腰掛ける事ができるように工夫しています。			
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族と相談し、使い慣れた家具を持ち込んでいただき、不安のないような環境作りに努めています。	居室は、フローリングの部屋と畳の部屋があります。入居者は以前に使っていた家具や仏壇などを持ち込み、思い思いに飾りつけをして、その人らしい居室作りをしています。寝具は好みでベッドの方もいますし、布団の方もいます。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室、トイレなど利用者様が理解できるように貼紙をしたり目印をつくり混乱がないようにしています。			

事業所名	グループホーム ゆらり相模原
ユニット名	2階

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「一人ひとり」を大切に笑顔と真心で、地域の一員となり笑顔で交流することを事業所独自の理念として共有しています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に記入し自治会行事の連絡があるときは参加している。又、外出（散歩）の際は自宅の庭を休憩のために提供してくれています。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設行事に参加して頂ける声掛けをしています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催しています。 地域自治会長、民生委員、地域包括、利用者、家族の参加を得てホームの状況、活動報告を行い意見交換を行っています。ご家族が多数参加できるように、年2回日曜日に開催しています。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険課、生活支援課と随時連絡を取り合い、推進会議案内、議事録、毎月「悠花里」通信、サービス状況を報告郵送しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施錠はしていません。 フロア毎に出入り口、玄関にチャイムを完備し自由に出入りできるようにしてあります。		
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全体・ユニット会議等で話合いの場を設けています。		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要に応じて関係者と電話、封書で連絡しています。		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に、重要事項、利用契約書、運営規定を全て読み上げ説明し、同意後に契約のサインを頂いています。		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入り口付近の投書箱を設置しています。1ヶ月に一度確認していますが、ご意見は頂いておりません。定期的な推進会議を開催し意見を頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月事業所で運営会議、全体・ユニット会議、各委員会を開催し、代表者、管理者が出席し職員から直接意見を聞く機会を設けています。必要に応じて法人の事業部会議に議案として吸い上げ検討しています。		
12		<b>就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	希望勤務、希望休暇、勤務状況を把握し向上心を持って勤務できるよう努めています。		
13		<b>職員を育てる取組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に参加しています。ホーム独自の勉強会、基礎研修を行いスキルアップにつなげています。		
14		<b>同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他施設への訪問、居宅介護支援事業所、包括支援センターと常に情報交換を行い、地域密着情報交換会に参加しています。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>初期に築く本人との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族様、ご本人様に入居前に生活状況をよく聞き、安心して生活できるように話合いの時間を設けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	日々の対応、生活状況を報告し、新しい情報をいただきながらご家族様との関係を築いています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に見学に来て頂き、ご本人、ご家族様と十分に話し合い、入居後は早く生活環境に慣れていただけるように努めています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	料理、洗濯など一緒に行うなど、共に生活している関係を築いています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との関係が薄れてしまわないよう、個々の生活状況を連絡しています。家族レターなどで毎月行事への声掛けをし共に過ごし時間を大切にできるよう配慮しています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族との外出・外泊をすすめています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席の配置など他利用者とのよい関係が取れるように配慮したり、フロアで楽しい一時を過ごせるように作品作りやレクリエーションへの声掛けをしています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も他施設へ面会に行ったり、ご家族様と手紙でのやりとりをしています。		

**その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント**

23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の希望をできるだけ取り入れています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴をふまえてプランを作成しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	観察を密にし、心身の状態、異常時の早期発見に努め、日々の申し送り、カンファレンス、各会議などで状態を把握しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>全職員が毎月モニタリングを提出し、ユニット会議、カンファレンスなどで日々の状況を報告、話し合いをしご家族の要望も踏まえた計画を作成しています。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎月カンファレンスを行い、日々の状況からレコードベーシックへの記入も行き問題共有し実践しています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>毎月カンファレンスを行い問題を共有しケアをしています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の行事等は可能な限り参加しています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>歯科は毎週月曜に往診。内科は毎週金曜日に往診。内科に関しては夜間、休日でも緊急対応が可能です。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間連絡可能な状態です。		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は可能な限り面会に行き、病院関係者との情報交換を行っています。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様と同意書を作成し、終末期のあり方について共有しています。		
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時のマニュアルを作成しています。施設内にAEDを設置し職員全員が取り扱いができるように勉強会を開催しています。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	利用者様、職員の参加により防災訓練を行っています。 水分・食料については3日分の備蓄があります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人に応じた声掛けを心がけています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何事においてもご本人の意思を尊重し希望はできるだけ聞いています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人からの希望にそった過ごし方を支援しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に理美容師の訪問があります。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作り、配膳、片付けも共にし、献立作りの際にも好みを活かすようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一日を通して随時水分補給をしています。食事摂取量を記録しています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後職員と共に口腔ケアを実施し、自立されている方は見守りをしています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>可能な限りトイレ誘導を行っています。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>飲食物の工夫や散歩への声掛け等をし個々に応じた予防に取り組んでいます。医師との連携も取るようにしています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴時間は決まっていますが、本人の体調に合わせて入浴しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>ご本人の好きな時間に休息したり、眠ってもらうようにしています。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の理解に努め、症状の変化の確認に努めています。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>掃除、片付けなど役割を決め実施しています。個々に合わせた散歩、手工芸など気分転換できるように支援しています。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>個別の対応は出来ていないが、数名づつ利用者の希望や体調に合わせて外出しています。日常の散歩などは個別に対応しています。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>日用品や嗜好品の購入の際はご本人のお金を支払うことにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>利用者様から電話する事は難しいため、ご家族から電話を頂けるように働きかけをしています。個別に携帯電話の使用もされています。年賀状を毎年ご本人に書いていただいています。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>壁などに作品を展示し季節感を取り入れる工夫をしています。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアー内に椅子を多く配置し、自由に腰掛ける事ができるように工夫をしています。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族と相談し、使い慣れた家具を持ち込んでいただき、不安のないような環境作りに努めています。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室、トイレなど利用者様が理解できるように貼紙をしたり目印をつくり混乱がないようにしています。</p>		

## 目標達成計画

作成日：平成23年12月15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		居室の環境整備	居室担当、日々の掃除などで環境整備を行っていく。	月毎の環境整備チェック表の活用と、各居室にチェック表を貼り清掃チェックお行う	12ヶ月
2		重度化やターミナルに向けた支援	医学の知識を理解し身に付ける。	観察を密にし記録を徹底し情報を共有する。 随時カンファレンスを行え状態を把握し、ご家族との連絡も密にしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。